

(長子配布)



学校だより

# ひこばえの心

第6号 R5.7.14

文責：校長 古川善隆

学校教育目標：ひこばえの心もち、強く・かしこく・美しく 生きる子どもの育成を図る

## ● 「七・八災害祈念集会」を行いました

7月7日（金）に、今から61年前の1962年7月8日に起きた七・八災害の祈念集会を行いました。この災害は太良町など県南西部に豪雨が降り、長雨の影響で地盤が緩み、8日の午前8時ごろに権現山が崩れました。地滑り（山津波）で大浦地区の集落に土砂が流れ込み、多くの民家が押しつぶされ、44名の方の尊い命が亡くなりました。重軽傷者も127名、家屋全半壊が184戸、大浦小学校の校舎も2棟全壊した大災害でした。

そこで大浦小では、この災害を忘れないため、7月8日の前後に祈念集会を毎年開いています。祈念集会では、災害に遭われた、杉田さんと新宮さんが子どもたちのために、当時の体験をお話してくださいました。また、防災教育として自衛隊の方に「防災に関する講話と担架の演習」を行っていただきました。

「七・八災害祈念集会」を通して、災害で亡くなられた方々のご冥福を祈りながら、命の尊さ・大切さについて考え、そして、いつ・どこで災害が起こるか分からない時代、災害が起きた時にどのような行動をとればよいかなどの心構えを考える集会となりました。



## ● 「いじめアンケート」「体罰アンケート」について

6月下旬に実施した「いじめ・体罰アンケート」への回答ありがとうございました。「いじめアンケート」では、「嫌なことを言われた」「冷たい言い方をされた」「気になること、いやみを言われた」「仲間はずれをされた」などの回答が数件ありました。現在、担任が聞き取りを行い、個別の対応をしているところです。アンケート結果を踏まえ、今後もさらに子どもたちの学校での様子を観察・見守りを行い、思いやりをもって友達と接し、いじめを許さない安心して生活ができる学校づくりに努めていきます。「体罰アンケート」においては、特に回答はありませんでした。今後も体罰のない学校づくりに務めていきます。

保護者の皆様も何かお子様のことでご心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

## ● ハラスメント相談窓口について

ハラスメント（セクシュアルハラスメント、モラルハラスメント等）とは、いろいろな場面での「嫌がらせ、人権侵害」を言います。その種類は様々ですが、他者に対する発言や行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、脅威を与えたりすることを指します。ハラスメントを受けた場合は、一人で悩んだり、我慢したり、受け流したりしないで、まず、身近で信用できる人に相談することが大切です。学校では、ハラスメント相談窓口を設置しています。何か困ったことがあったら本校ハラスメント相談窓口担当者に気軽に相談してください。秘密は必ず守ります。



ハラスメント相談員：田川教頭 中島養護教諭



ヤング川柳 入賞おめでとう！



7月1日 お題「揺れる」

次点「夏の風ふうりんひらり海の音」

4年 田代希彩さん